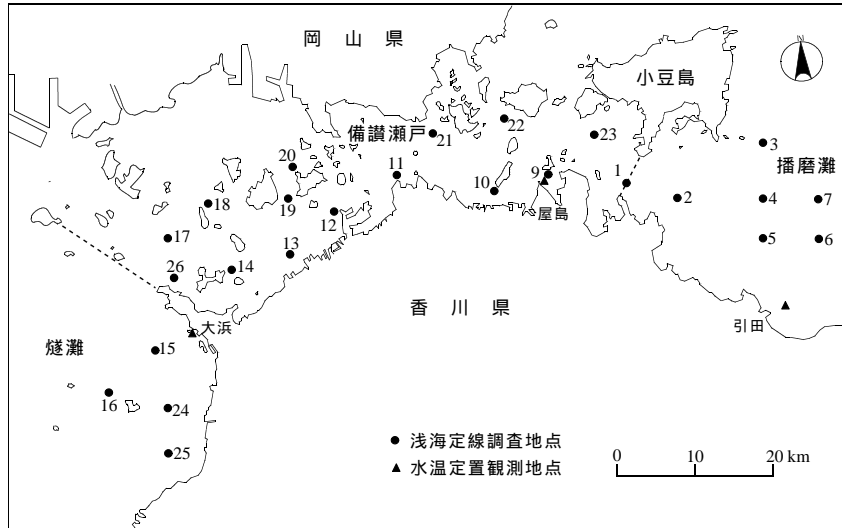


# 香川県漁海況速報 平成19年 3月 (H18-12号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成19年3月2日 (播磨灘) 1日 (備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり高めから著しく高め」、塩分は「やや低め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	10.5	10.5	10.6	32.3	32.3	32.3	6.9	6.17	6.03
	平年値	8.7	8.6	8.5	32.7	32.8	32.8	9.4	6.68	6.55
	平年偏差	1.8	1.9	2.1	-0.5	-0.5	-0.5	-2.5	-0.51	-0.51
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	かなり低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	10.3	10.3	10.3	32.3	32.3	32.3	7.2	6.33	6.35
	平年値	8.8	8.7	8.7	32.9	32.9	32.9	5.8	6.45	6.47
	平年偏差	1.5	1.5	1.6	-0.6	-0.6	-0.6	1.4	-0.12	-0.12
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	11.0	10.7	10.8	32.7	32.8	32.8	7.2	6.00	5.98
	平年値	9.6	9.4	9.3	33.1	33.2	33.2	8.1	6.60	6.35
	平年偏差	1.4	1.4	1.4	-0.3	-0.4	-0.5	-0.9	-0.60	-0.36
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	かなり低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

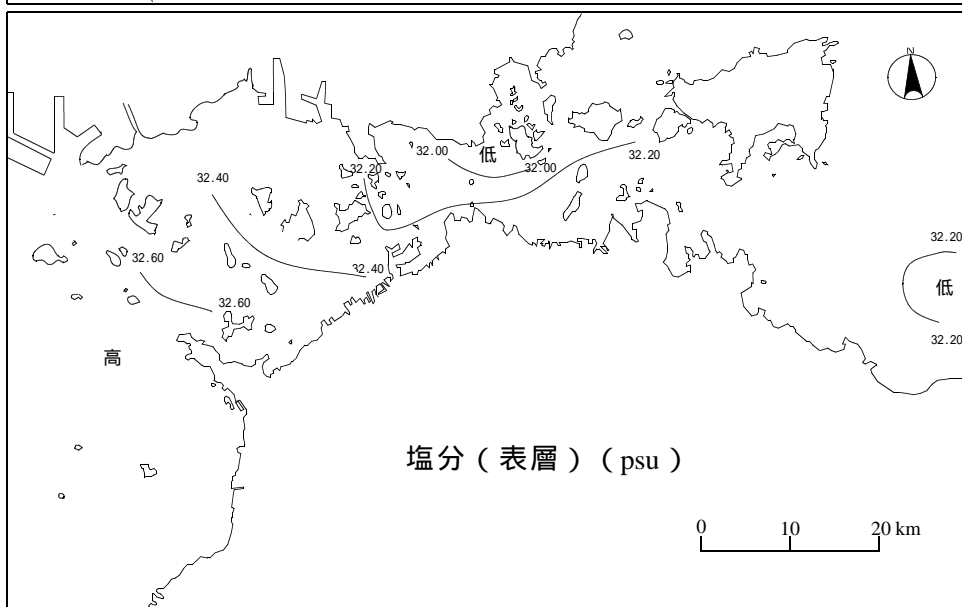
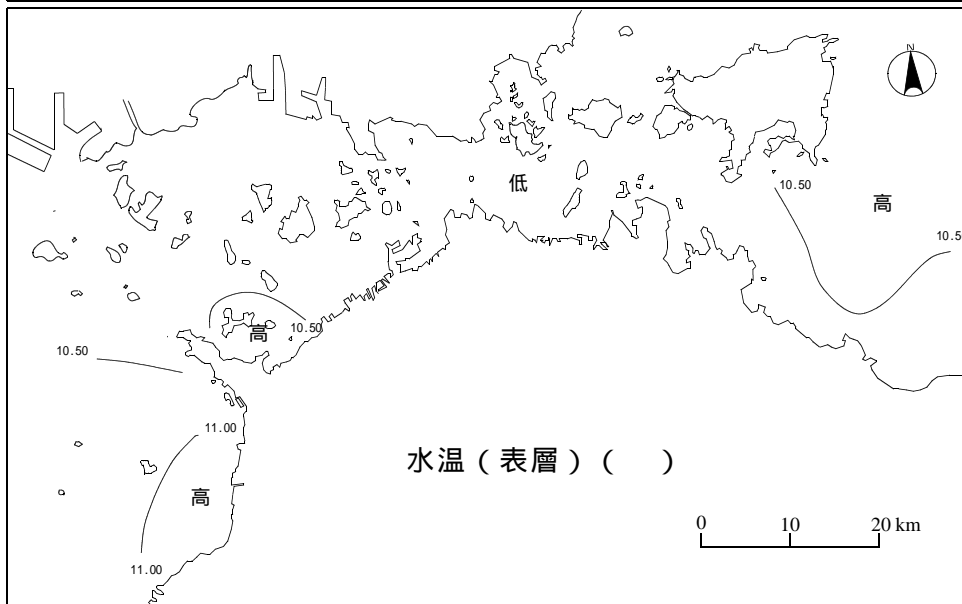
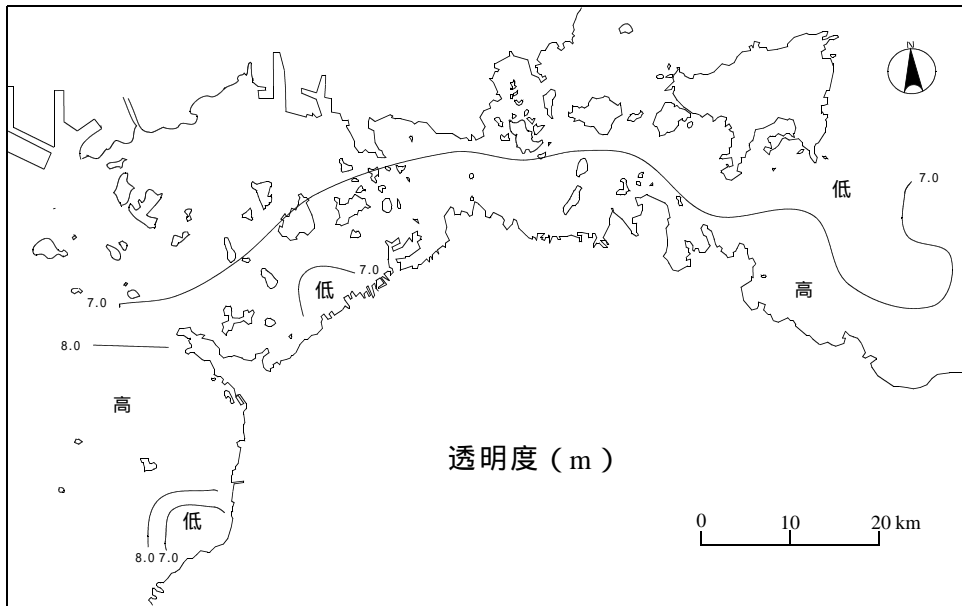
平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



### 3) 定量観測(水温)

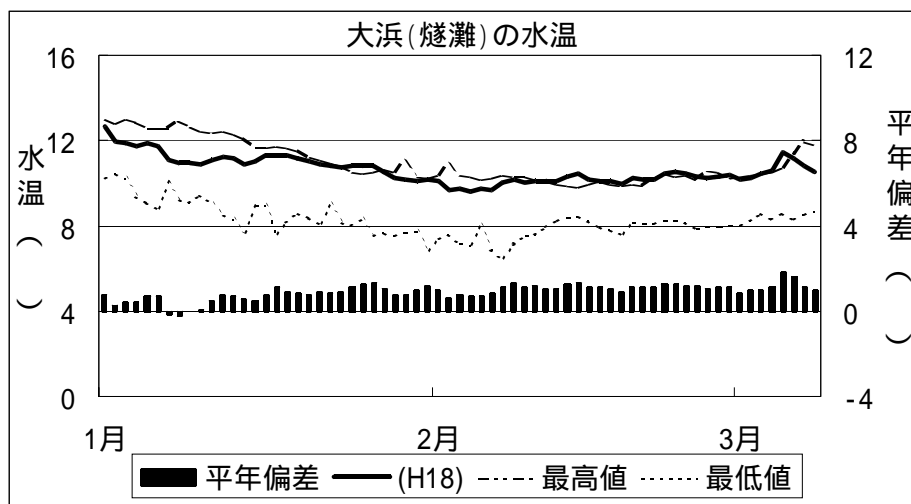
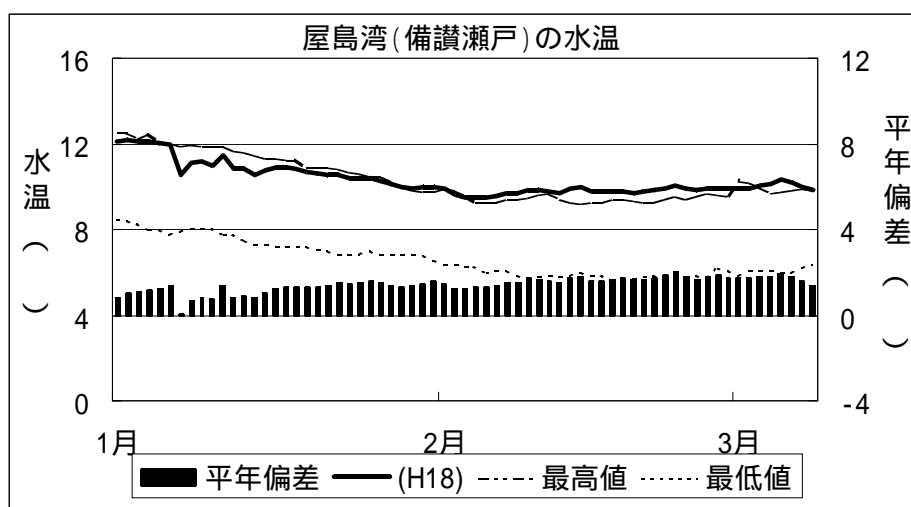
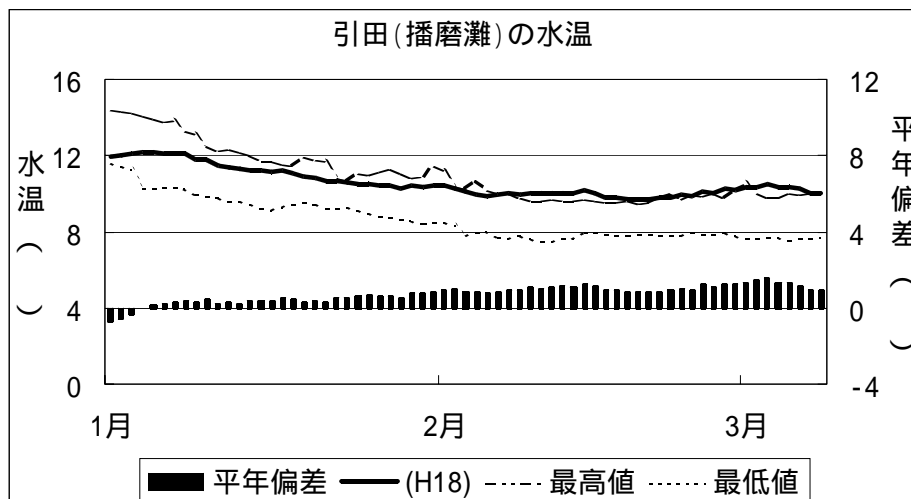
播磨灘(引田): 2月以降、過去最高値、またはそれを上回る値(平年値より0.5~1.5 程度高め)で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 2月以降、過去最高値、またはそれを上回る値(平年値より1.5~2.0 程度高め)で推移している。

燧灘(大浜): 2月以降、過去最高値、またはそれを上回る値(平年値より1.0~1.2 程度高め)で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成17(2005)年

屋島: 昭和50(1975)~平成17(2005)年



#### 4) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成19年3月2日（播磨灘）、1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成17（2005）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成17（2005）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現はなかった。

## 2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では、主にウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類が漁獲されている。 釣りではメバルが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では、主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、マアナゴが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量は、むき身で100～140kg / 日・隻と前年同様な漁獲が続いているが、価格は安値で推移している。 高松及び庵治沖のイカナゴ込網の2月までの漁獲量は、318トンで前年の25%、平年（平成3年から平成17年までの平均）の65%と不漁である。
燧 灘	底びき網では、主にウシノシタ類、マコガレイ、メイタガレイ、ツメタガイ、小エビ類が漁獲されている。 マイワシ流し刺網では、マイワシは漁獲されていないが、コノシロやサツバが漁獲されている。